

平成25年度

事業報告書並びに収支計算書及び貸借
対照表、正味財産増減計算書、財産目録、
附属明細書（案）

A. 展覧会活動

1. 企画展「夭折の陶芸家中野和馬という男」

会 期	2013年3月30日（土）～5月26日（日）
休 館 日	月曜日（4/29、5/6 は開館し、5/7 日休館）
開館日数	51日間
開館時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料	一般700円（600円）、高校・大学生500円（400円）、駿府博物館友の会会員350円 中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※（ ）内は前売券
主 催	駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
後 援	静岡新聞社・静岡放送、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、島田市教育委員会、 島田市文化協会、島田高等学校同窓会
協 力	株式会社 松永家具
内 容	中野和馬の陶器は、決して高貴な芸術作品ではなく荒っぽく土を引っ掻いたり陶板を削 るなど通常の陶器の概念から懸け離れた作品を残した。「ただ鑑賞するものではない。使 って初めてその良さが分かる」。中野和馬は完成した作品は必ず野草を挿したり、茶菓子 を添えたりしながら写真に取めた。鑑賞しながらも中野和馬の良さをより引き出すため に華道とのコラボレーションや実際にその良さを感じて頂くために呈茶コーナーを設置 し、使う楽しさを実感して頂いた。43年という余りにも早く駆け抜けた人生、「中野和 馬の生き様」を作品を通して紹介すると同時に、精力的に陶芸の道にのめり込んだ初期 の作品から自分の作風を確立した晩年の作品までを展示した。
イベント	●呈 茶 チケットにつく呈茶券で、中野和馬作品を使ってお茶を提供した。 会場：一階画廊 ●講演会 ①4月13日（土）午後1時30分～「中野和馬・青春の彷徨」 講 師：鈴木善彦氏（静岡文化芸術大学理事・島田高校時代の恩師） 会 場：駿府博物館講座室 参加者：70人 ②4月27日（土）午後1時30分～「中野和馬の陶芸～色めく器たち～」 講 師：山本浩二氏（共立女子大学非常勤講師） 会 場：駿府博物館講座室 参加者：45人 ●ギャラリートーク 毎週日曜日午後2時から、当館学芸員が鑑賞のポイントを解説した。 会 場：展示室
事業効果	静岡市内だけでなく、愛好家や生前の友人等、首都圏を中心に来館者が多く、島田市出 身の陶芸家・中野和馬について広く伝えると同時に、親族でも知らなかったという新た な中野和馬像を確立する展覧会となった。また、若い世代の来館者が目立ち、特に陶芸 の経験者の姿が多かった。芸術として鑑賞する機会の少ない陶器を、現代作家という時 間的な隔たりのない等身大の姿で紹介したことで、より親しみの持てるものとなったこ とを期待する。また、毎週日曜日のギャラリートークに加え、4月13日（土）に中野和 馬の高校時代の恩師・鈴木善彦氏に人物像、27日（土）に中野和馬の旧友で陶芸家の山 本浩二氏に作品の芸術性について講演会を行い、両日とも盛況であった。他のイベント として、今回の展示では、所蔵者の意向で実際に作品を使った呈茶サービスを行い、陶 器の質感や手触りを実感していただき、より身近なものとしての陶芸を再認識できる機 会となった。
入 館 者	有料：2,103人 無料：927人 合計：3,030人

2. 企画展「金澤翔子書作展～絆～」

会 期 2013年6月1日（土）～6月30日（日）
休 館 日 月曜日
開館日数 26日間
開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料 一般500円、高校・大学生300円、駿府博物館友の会会員250円
※中学生以下・障害者手帳提示の方は無料
主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
後 援 静岡新聞社・静岡放送、静岡市教育委員会
内 容 天才書家・金澤翔子の静岡初となる展覧会。金澤翔子は1985年、東京に生まれ。生まれてすぐにダウン症と診断されるが、母・泰子が主宰する書道教室で5歳から筆を持ち、書道を始める。20歳のとき、銀座の画廊で個展「翔子 書の世界」を開催。24歳のときには、鎌倉・建長寺において書展「四曲屏風作品展」を、京都・建仁寺にて「金澤翔子建仁寺展」を開催し成功をおさめる。2011年には、東日本大震災の被災地支援の書「共に生きる」を発表。同年TBSテレビ「絆プロジェクト」に参加し、被災地支援の書「絆」を被災地に贈った。また、2012年度NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を揮毫するなど、その活躍の場を広げ、現在、最も注目を集める若手書家の一人。本展では、東日本大震災後に書かれた「希望光」「共に生きる」、人気テレビ番組内で揮毫した「絆」、NHK大河ドラマ「平清盛」題字など、新作を含めた心揺さぶる作品約30点を展示した。

イベント ●ギャラリートーク
6月9日（日）、23日（日）午後2時から、当館学芸員が鑑賞のポイントを解説した。
会 場：駿府博物館展示室
●金澤翔子書作展～絆～開催記念「席上揮毫会&トークショー」
6月8日（土）午後1時～
会 場：静岡市立葵小学校体育館（静岡市葵区城内町7番9号）
参加費：無料
内 容：金澤翔子氏による席上揮毫「慈愛」と母・泰子、翔子両氏によるトークショー。
参加者：600人

事業効果 今回のテーマは「障がい者」と「アート」。来館者に、未来のあるべき姿を少しでも考えて欲しいという願いを込め企画した。その意図通り、作品と対峙しながら彼女の放つパワーを感じとり、ソーシャルインクルージョンという視点で鑑賞してくれた来館者が多かったようだ。また、他の展覧会に比べ障がい者の入館者数が非常に多く、391人（総入館者数の約5パーセントが障がい者）だった。

入 館 者 有料：6,034人 無料：1,357人 合計：7,391人

3. 富士山世界文化遺産登録記念「ほくらの富士山展」

会 期 2013年7月9日（火）～8月18日（日）
休 館 日 月曜日（但し7/15は開館し、翌日休館）
開館日数 36日間
開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料 無料
主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）

共 催 静岡新聞社・静岡放送
協 力 認定NPO法人 富士山を世界遺産にする国民会議、エコ・ロジック
後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
内 容 地元静岡の小・中学生の絵画・造形物、「世界一幸福な国」で知られるブータンの子どもたちが描いた富士山、環境問題に取り組むハワイの子どもたちの富士山の切り絵のほか、これまでイベント会場などで描かれてきた「富士山絵手紙プロジェクト」絵葉書を使って完成させた巨大富士山図、当館所蔵の近代日本画の富士山などを展示した。

イベント ●ワークショップ
7月6日（土）午前、静岡市立田町小学校35人（児童20人、保護者10人、教諭5人）が巨大富士山図を制作した。また7日（日）午前、静岡こども環境大使ら13人が切り絵などで富士山を制作した。
会 場：展示室

事業効果 「富士山と信仰・芸術の関連遺産群」で世界文化遺産に登録された「富士山」。これを記念して開催した企画展ということもあり、作品を制作した参加者や来館者が、富士山の豊かな文化や自然、美しい景観を想起し、人類共通の財産として後世に継承していくための意識を醸成する場となった。また、小・中学校（学校教育）とミュージアム（社会教育）との連携を図り、子どもたちに当展の出品制作を制作してもらった。作品出品参加校は小学校9校、中学校2校。作品出品参加者数は約2000人にもなった。

入 館 者 902人（無料）

4. 企画展「榎木孝明 浪漫紀行～やすらぎの水彩画展～」

会 期 2013年8月24日（土）～10月6日（日）
休 館 日 月曜日（9/16、23は開館し、翌9/17、24休館）
開館日数 38日間
開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料 一般1,000円（800円） 高・大学生700円（500円）、駿府博物館友の会会員500円
団体（10名以上）2割引 中学生以下・障害者手帳提示の方無料 ※（ ）内は前売り
主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
後 援 静岡新聞社・静岡放送、静岡市教育委員会
協 力 オフィス・タカ
企画協力 ステップ・イースト
内 容 榎木孝明は、俳優としての活躍に加え、水彩画家としても高い評価を得ている。幼少の頃から絵を好み、武蔵野美術大学に学びながら、次第に役者の道を志し、現在の活動に結びついている。描かれる作品には、優しさと透明感にあふれる四季折々の風景が表現され、そこから感じられる風の音、土地の香りが観る者の共感呼び、癒してくれる魅力を持っている。彼は、旅をしている中で、ふと心に響いた景観に絵筆を走らせ、目の前の景色を写し取るだけではなく、時の流れや空気感までを見事に捉えているため、自然と水彩画の世界へ入り込んでいくことができる。本展のために描かれた最新作「日本晴れ」（静岡・日本平）をはじめ、榎木孝明が描いた数々の水彩画の中から、彼の俳優としての代表作ともいえる「浅見光彦」が巡った日本の各地、日本の「世界遺産」を描いた景色、そしてアジアからヨーロッパまで幅広い地域に及ぶ海外の風景まで、約100点を展示した。

イベント ●作家来場サイン会&ミニトークショー
開幕日 8月24日(土)の午前11時からと午後2時からの2回、サイン会
対象品を購入の来館者にサイン会を実施した。
会場：駿府博物館講座室
参加者：98人

事業効果 俳優として活躍しながら、同時に水彩画家として活動し続けている榎木孝明の、旅をテーマとして描かれた身近な、あるいは世界各地の名所の風景を題材とした作品に、来館者の方々が親しみや共感を持って鑑賞する機会となった。開催初日には「作家来場サイン会」を開催し、参加者に絵を描くことの楽しみや自由さをメッセージとして伝えることができた。また、富士山が世界文化遺産に登録されたことを受け、本展のために描かれた富士山シリーズが好まれ、日ごろ自分たちが見ている風景を異なる視点から紹介できることにもつながった。また、榎木孝明の俳優としての活動はよく知られているものの、それ以前から水彩画を描いていることはほとんど知られておらず、新たな人物像を紹介できたことを期待する。手軽な道具で描くことができる水彩画ということもあり、既に趣味として行われている方のほか、これから水彩画を始めてみようという意欲を伺うこともあった。そのため、展覧会に影響を受けて新しく物事を実践しようとする刺激を与えられることを成果として得ることができた。

入館者 **有料：3,084人 無料：775人 合計：3,859人**

5. 駿府博物館特別展 没後80年「宮沢賢治・詩と絵の宇宙 雨ニモマケズの心」

会期 2013年10月12日(土)～11月24日(日)
休館日 月曜日(10/14、11/4は開館し、翌日休館)
開館日数 38日間
開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
入館料 一般800円(600円) 高・大学生500円(400円)
駿府博物館友の会会員400円、団体(10名以上)2割引
中学生以下・障害者手帳呈示の方無料 ※()内は前売り料金
主催 駿府博物館(公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)、静岡新聞社・静岡放送
後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
特別協力 宮沢賢治記念館、宮沢賢治イーハトーブ館、林風舎
企画協力 NHKサービスセンター、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

内容 『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』『風の又三郎』など、数多くの童話や、「雨ニモマケズ」などの詩作で広く親しまれている宮沢賢治(1896-1933)。東日本大震災からの復興が進む今、再び賢治の作品が注目を集めている。彼が生まれた年に起きた明治三陸地震、および亡くなる約2ヶ月前に起きた昭和三陸沖地震という二度の大きな震災により、岩手県に生まれた賢治にとってその生涯は、天災と凶作に悩まされたものだった。そんな苦しい世相の中、賢治の心には岩手県をイメージしたといわれるドリームランド、架空の理想郷イーハトーブがあった。イーハトーブを目指す独自の世界観で綴られた詩や物語は、今日に至るまで多くの芸術家たちに視覚的・聴覚的インスピレーションを与えている。本展では、賢治作品に添えられた数多くの作家による挿絵原画に加え、賢治が記した「雨ニモマケズ手帳」、賢治自身による水彩画や関連資料など約250点を展示した。

イベント ●講演会 10月12日(土)午後2時～3時30分「祖父・清六から聞いた兄・賢治」
講師：宮沢和樹氏(林風舎代表)
会場：駿府博物館講座室
参加者：170人

●朗読会 11月10日(日)、16日(土)午後2時～3時30分「宮沢賢治を読む」
会場：駿府博物館講座室
協力：静岡民放クラブ
参加者：11/10 70人、11/16 90人

事業効果 年齢、性別問わず、幅広い層のお客様が来館した。特に子供連れの親子など家族で鑑賞する方が多かったのが特徴で、親子で宮沢賢治の世界を体感していただいた。また、静岡市内の小学生に「キッズ招待状」を配布した効果もあり、小学生の入館数が全体の入館者数の約14パーセントを占めるほど、小学生の鑑賞教育に貢献した。

入館者 **有料：5,800人 無料：2,574人 合計：8,374人**

※小学生入館者数1,178人

6. HANGA ザ★BEST

会期 2013年11月30日(土)～2014年1月13日(月・祝)
休館日 月曜日(12/23は開館し、翌日休館)、年末年始(12/28～1/6)
開館日数 31日間
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般：300円、高・大学生：100円 団体(10名以上)2割引
駿府博物館友の会会員、中学生以下、障害者手帳呈示の方無料
主催 駿府博物館(公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)
内容 創作版画は「版を介した絵画表現」。表現の手法でありながら、印刷の技術としての側面もあわせ持っていることが特徴で、新しい表現方法が生まれる可能性があるジャンルといえる。また、版画表現には数多くの種類があるため、凸、凹、平、孔の4つの技法に分けるのが一般的だが、それらに当てはまらない様々な技法もある。本展では、当館版画コレクションの中から、静岡における創作版画の礎を築いた昭和初期の作家から現代活躍する作家のほか、平成23、24年度寄贈を受けた作品を含め、約40点を展示した。

イベント ●ワークショップ
12月7日(土)午後1時～4時「手作り版画で年賀状を出そう！」
講師：杉山彰氏(静岡県版画協会理事)
会場：駿府博物館展示室
対象：小学生と保護者
参加者：4家族12人

●ギャラリートーク
毎週日曜日午後2時から、当館学芸員が鑑賞のポイントを解説した。
会場：駿府博物館展示室

授業効果 静岡県における創作版画の歴史を示すことができたほか、静岡県の版画作家や版画技法の数々を来館者に伝えることができた。

入館者 **有料：338人 無料：156人 合計：494人**

7. 生誕 140 年記念特別展「KANZAN 第3の男・下村観山」

会 期 2014 年 1 月 18 日（土）～3 月 2 日（日）
休 館 日 月曜日
開館日数 38 日間
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（入館は午後 5 時まで）
入 館 料 一般 800 円（600 円）、高・大学生 600 円（500 円）、団体（10 名以上）2 割引
駿府博物館友の会会員 400 円 中学生以下、障害者手帳呈示の方無料
※（ ）内は前売料金

主 催 駿府博物館（公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
静岡新聞社・静岡放送

企画協力 神奈川県立歴史博物館、静岡科学館る・く・る
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

内 容 下村観山（1873～1930）は 2013 年に生誕 140 年を迎えた。観山は幼少より幕末の狩野派・狩野芳崖と橋本雅邦に師事し、東京美術学校（現、東京芸術大学）に第一期生として入学、岡倉天心に最も愛された画家として日本画の近代化を目指す。卒業後、日本美術院の創設に参加、その後、日本画家初の官費留学生としてイギリスに渡り、水彩画研究や洋画の模写を行うなど、幅広く日本画の可能性を追求してきた。優れた作品を遺しながらも、横山大観、菱田春草の陰に隠れ、三番目に語られることの多い下村観山。本展は、東京美術学校時代から晩年までの観山作品を概観しながら、画稿や絵画用具など観山像に迫る初公開の資料も含め約 80 点を展示した。

イベント ●講演会 ①2014 年 1 月 25 日（土）午後 1 時 30 分～「観山と原三溪」
講 師：清水 緑 氏（公益財団法人三溪園保勝会学芸員）
会 場：駿府博物館展示室
参加者：21 人
②2014 年 2 月 1 日（土）午後 1 時 30 分～「資料から読み解く下村観山」
講 師：角田拓朗 氏（神奈川県立歴史博物館学芸員）
会 場：駿府博物館展示室
参加者：30 人
③2014 年 2 月 8 日（土）午後 1 時 30 分～「『第三の男』観山の実力を見る」
講 師：小泉晋弥 氏（茨城大学教育学部教授、五浦美術文化研究所副所長）
会 場：駿府博物館展示室
参加者：21 人

●ワークショップ

①2 月 11 日（火・祝）、22 日（土）「掛軸を仕立てよう！」
指 導：株式会社墨仁堂
会 場：講座室
参加者：2/11 7 人、2/22 10 人
②2014 年 3 月 1 日（土）午後 1 時～「岩絵の具をつくろう！」
協 力：静岡科学館る・く・る
会 場：静岡科学館る・く・る 8 階創作ルーム
参加者：14 人

●ギャラリートーク

毎週日曜日午後 2 時から、当館学芸員が鑑賞のポイントを解説した。
会 場：展示室

事業効果 展示会の意図した通り、「下村観山」の名前を知らながらも、まとまって作品を見たことがないという来館者や、下村観山を知らずとも、「第三の男」として、すでに知名度の高い横山大観や菱田春草と比べて鑑賞される方々がいた。初公開資料や数十年ぶりの展覧となる作品が充実し、下村観山を紹介するよい機会となった。また、講演会では下村観山とゆかりの深い茨城・横浜の研究者から異なる視点での講演いただいた。さらにワークショップでは、日本画の素材に注目した掛軸や岩絵の具を作る体験を通して、子どもから大人まで幅広い世代に日本の伝統文化の理解を楽しみながら伝えることができた。

入 館 者 有料：1,875 人 無料：571 人 合計：2,446 人

8. 第 17 回駿府博物館講座生合同作品発表会

会 期 2014 年 3 月 6 日（木）～3 月 12 日（水）
休 館 日 3 月 10 日（月）
開館日数 6 日間
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）※12 日は午後 3 時で終了。
入 館 料 無料
主 催 駿府博物館（公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
内 容 版画、油彩画、水彩画、日本画、水墨画、仏画・写経、短歌、俳句、古文書講座の受講生および講師の作品を展示（古文書は使用テキストを展示）した。
授業効果 生涯学習として受講している生徒たちが日ごろの成果を発表する場が当展であり、各々がここを生きがいの場と再認識していた。

入 館 者 347 人（無料）

9. 第 37 回蘇峰会静岡県書道展

会 期 2014 年 3 月 15 日（土）～3 月 23 日（日）
休 館 日 3 月 17 日（月）
開館日数 8 日間
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
入 館 料 無料
主 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送、駿府博物館
後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟
内 容 徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、静岡新聞・静岡放送社長賞など大賞 55 点と優秀作品を展示した。

イベント ●審査会 2 月 19 日（水）午前 9 時から実施。2,843 点の応募があり、審査の結果、大賞 55 点を含む 349 点が入賞。また、多数の作品に応募した団体、熱心な活動を続けている団体に贈る団体奨励賞に 7 団体を選出。
会 場：講座室
審査員：静岡県書道連盟 櫻井流翠会長、渡辺墨仙副会長、大谷青嵐理事長
●表彰式 3 月 23 日（日） 静岡 新聞放送会館 18 階「蘇峰ホール」にて実施。

事業効果 園児から一般まで総数 2,843 点の出品があり、大賞 55 点、優秀賞 294 点、の入賞者の作品を選び、展示した。徳富蘇峰先生の偉業を顕彰普及し併せて青少年の健全な育成を図り、また書道の発展に寄与する目的を達成することができた。

入館者 565 人（無料）

平成 25 年度展覧会入館者及び関連イベント参加者数	有料	20,601 人	無料	8,174 人	合計	28,775 人
----------------------------	----	----------	----	---------	----	----------

B.教育普及活動

1.年間講座

- 古文書講座 第 1・3 土曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
講師 中村典夫先生（駿河古文書会副会長）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 4 6 6 名
- 水墨画講座 第 2・4 日曜日 12 時 30 分～14 時 30 分
講師 菊地静寿先生（日本画家）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 1 9 2 名
- 日本画講座 第 2・4 日曜日 15～17 時
講師 菊地静寿先生（日本画家）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 2 5 6 名
- 版画講座 第 1・3 木曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
講師 杉山 彰先生（国画会準会員・静岡県版画協会理事）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 2 0 2 名
- 油絵講座 第 1・3 金曜日 13 時～15 時
講師 池谷富美子先生（国画会準会員）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 1 6 2 名
- 短歌講座 第 2・4 木曜日 13 時～16 時
講師 山口静子先生（静岡県歌人協会名誉会員）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 3 0 4 名
- 水彩画講座 第 2・4 水曜日 14 時～16 時
講師 南城由起子先生（日展会友・白日会県支部長）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 8 5 8 名
- 仏画・写経講座 第 1・3 日曜日 13 時 30 分～16 時 30 分
講師 藤 白魚先生（仏画師）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 3 4 8 名
- 俳句講座 第 2・4 金曜日 13 時 30 分～16 時
講師 秋本恵美子先生（静岡県俳句協会会員）
期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 1 2 ヶ月 月 2 回 延べ参加人数 2 9 2 名
参加者合計 3, 0 8 0 名

2.短期講座

- 第 10 回駿府博物館短期歴史講座「幕末・維新期の静岡」
期 間 平成 25 年 9 月～11 月 土曜日 計 6 回
会 場 静岡商工会議所 5 階ホール（静岡市葵区黒金町 20 番地の 8）
受 講 料 駿府博物館友の会会員 8,000 円、一般・学生 11,000 円
主 催 駿府博物館（公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団）
協 力 静岡県近代史研究会
内 容 嘉永 6（1853）年アメリカ東インド艦隊司令官ペリーが来航。同 7 年日米和親条約が締結され函館とともに下田が開港します。まさに日本の国際化は下田から始まったと言えます。一方、「西洋の衝撃」は幕藩体制の屋台骨を揺るがし、やがて討幕運動の機運が高まります。慶応 3（1867）年、15 代将軍徳川慶喜は大政奉還し、2 6 0 年余り続いた江戸幕府は幕を閉じます。その後、旧幕府と薩長両藩を中心とする新政府軍との間に戊辰戦争が起こり、勝利を収めた新政府は、西洋の近代システムを積極的に取り入れた国作り邁進します。そのような激動の時代、私たちの住む静岡はどのような状況だったのでしょうか。当講座では、ダイナミックに時代が転換する幕末から明治維新期の静岡を、シリーズ 5 回で講義しました。

講義日時

- 【第 1 回】9 月 14 日（土）13：30～15：30 「幕末維新期の伊豆韮山の江川家」
講師：静岡大学人文社会科学部准教授 今村直樹 氏
- 【第 2 回】10 月 12 日（土）10：00～12：00 「幕末維新期の報徳運動について」
講師：静岡県立浜松視覚特別支援学校教諭 足立洋一郎 氏
- 【第 3 回】10 月 26 日（土）10：00～12：00 「維新期の士族授産について」
講師：常葉大学短期大学部非常勤講師 高木敬雄 氏
- 【第 4 回】11 月 9 日（土）13：30～15：30 「維新期静岡の法と裁判」
講師：静岡大学人文社会科学部教授 橋本誠一 氏
- 【第 5 回】11 月 23 日（土）10：00～12：00 「静岡学問所と沼津兵学校」
講師：国立歴史民俗博物館研究部教授 樋口雄彦 氏

延べ参加人数 3 1 5 名

3.研修旅行

- 「スケッチツアー 春の八ヶ岳と白樺林の風景」
期 日 平成 25 年 4 月 24 日 日帰り 参加人数 43 名
- 「仏画講師 藤先生と行く近江・京都古刹、名刹を訪ねて 聖護院門跡と世界遺産醍醐寺」
期 日 平成 25 年 7 月 8 日～9 日 1 泊 2 日 参加人数 26 名
- 「スケッチツアー 秋の白樺湖とスケッチの旅」
期 日 平成 25 年 11 月 7 日 日帰り 参加人数 39 名

参加者合計 1 0 8 名

4.友の会親睦会

期 日 平成 26 年 3 月 30 日 日 帰 り
見学地 伊勢神宮 式年遷宮を迎えた伊勢神宮参拝とせんぐう館
親睦会場 フレックスホテル

参加人数 55名

5.平成25年度友の会員数 総数 271名

C.画廊使用一覧

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 佐野 和宏 素描画 | 平成 25 年 6 月 11 日～16 日 |
| 2. 本山和泉・備前焼本山和泉親子作陶展 | 平成 25 年 6 月 18 日～23 日 |
| 3. 畔柳兄妹三人展 | 平成 25 年 6 月 25 日～30 日 |
| 4. 河村巖生 憂いの情景 | 平成 25 年 8 月 27 日～9 月 1 日 |
| 5. 清水悦子 花と風景画展 | 平成 25 年 12 月 3 日～8 日 |
| 6. 青島千景 ステンドグラス展 | 平成 25 年 12 月 17 日～23 日 |
| 7. 伊藤和子 遊牧の民(モンゴル) | 平成 26 年 2 月 25 日～3 月 2 日 |
| 8. 博物館講座生 ぐるーぷあしあとと油彩画展 | 平成 26 年 3 月 4 日～9 日 |

◆ 平成 25 年度博物館利用者数 32,362名

事項	有料	無料	合計	備考
展覧会入館者数	20,601名	8,174名	28,775名	7 展示
講座参加者数	3,395名		3,395名	年間 9 講座 短期 1 講座 ミニ講座 1
研修参加者数	147名	16名	163名	研修旅行 親睦会
ボランティア 参加数		29名	29名	宮沢賢治展
博物館利用者数総計			32,362名	前年比 11,343名 減

D.館内業務

1.職員の異動

平成 26 年 3 月 17 日付けで静岡放送より杉山和寿が副館長として出向、同日着任した。

2.館蔵品の修理

株式会社墨仁堂(静岡市葵区大岩 1-4-4)に依頼し、以下作品の修理を行った。

- ・平福百穂 「柘榴栗鼠」
- ・竹内栖鳳 「猿乗駒」
- ・希叟宗罕 「七絶二首」
- ・長野草風 「業平」

3.展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

- 1) 特別展・企画展・館蔵展 9 企画出品目録リーフレット(無料頒布)
- 2) 企画展「夭折の陶芸家中野和馬という男」図録・グッズ(委託有料頒布)
- 3) 企画展「金澤翔子書作展～絆～」書籍・グッズ(委託有料頒布)
- 4) 企画展「榎木孝明浪漫紀行～やすらぎの水彩画展～」で図録・書籍・グッズ(委託有料頒布)
- 5) 特別展「宮沢賢治詩と絵の宇宙雨野ニモマケズの心」で図録・グッズ(委託有料頒布)
- 6) 特別展「KANZAN 第 3 の男・下村観山」で図録を 1500 部制作(有料頒布)グッズ(委託有料頒布)

4.委託販売契約

1. 株式会社コミュニティネットと歴史グッズ委託販売覚書(平成 21 年 6 月～)

E.館外業務

1.作品の貸与・出品

- 1) 貸出先：掛川市二の丸美術館
作 品：長岡宏「雑草 84-B」
貸 出 品：作品、写真(ポジ)
使用目的：「長岡宏回顧展」展示及び広報物掲載
貸与期間：7 月 19 日～9 月 30 日
- 2) 貸出先：一宮市博物館
作 品：橋本雅邦「林間残照図」、
川合玉堂「奔泉紅葉」「溪村春信」「空山帰樵」「溪村浅春」 計 5 点
貸 出 品：作品、写真(ポジ)
使用目的：「川合玉堂生誕 140 周年記念特別展 ふるさとの風景」にて展示及び広報物掲載
(会場：一宮市立玉堂記念木曾川図書館 2 階視聴覚室)
貸与期間：7 月 20 日～11 月 20 日
- 3) 貸出先：現代書作家・しずおか運営委員会(柿下木冠、大石千世)
作 品：太田京子「李白詩」など合計 9 点
貸 出 品：作品
使用目的：「'14 現代書作家・しずおか 併催 太田京子展」にて展示
(会場：静岡県立美術館 県民ギャラリー)
貸与期間：3 月 18 日～4 月 7 日

2.写真撮影及び掲載等

- 1) 貸出先：株式会社 朝日新聞出版
作 品：冷泉為恭「足柄山図」
貸出品：写真（ポジ）
使用目的：『週刊朝日百科 日本の歴史 25号』掲載
貸出料：50,000円（税込）
貸与期間：9月20日～2014年2月6日
- 2) 貸出先：静岡市生活文化局スポーツ部文化財課
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品：写真（ポジ）
使用目的：静岡市歴史文化フォーラム「今川と徳川 秘められた静岡の魅力」
講演資料（スライド）及び広報物掲載
貸与期間：9月29日～11月21日
- 3) 貸出先：株式会社 ベストセラーズ（KKベストセラーズ）
作 品：土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品：写真（ポジ）
使用目的：月刊『歴史人』2014年1月号 掲載
貸出料：50,000円（税込）
貸与期間：11月21日～12月14日
- 4) 貸出先：株式会社ネクサス
作 品：橋本雅邦「林間残照図」
貸出品：なし（図録からの複写）
使用目的：テレビ東京系『開運！なんでも鑑定団』にて放送
使用料：30,000円（税込）

3.契約継続事項

- 1) 別館1階設置自販機の設置協定書をダイードリンコ、ツキジフーズ、伊藤園3社と継続契約。（平成21年12月25日～）
- 2) ㈱トップアートと「駿府博物館（大石コレクション）日本画名品十二撰」複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 3) ㈱トップアートと伊東深水「吹雪」複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 4) ㈱トップアートと川合玉堂「溪村春信」複製画の販売契約再契約（平成21年12月25日～）
- 5) 前野会計事務所と顧問契約（平成22年7月～）
- 6) (有)マネージメントタクトとTKC会計システムのリース契約（平成22年10月～）
- 7) リコーリース㈱とコピー機のリース契約（平成24年2月9日より）
- 8) 光画コミュニケーション・プロダクツ(株)と図録「第3の男下村観山」販売契約。
（平成26年1月21日～）

4.新規契約事項

1. ㈱エンタテインメントプラスとチケットの委託販売契約
（企画展「夭折の陶芸家中野和馬という男」～）
（企画展「榎木孝明浪漫紀行～やすらぎの水彩画～」～）
（特別展「宮沢賢治・詩と絵の宇宙」～）
（特別展「KANZAN 第3の男・下村観山」～）